

おもひ草の序  
抒情詩は近き世西の國國にては只好時  
き境裏にのみもてはやさるるものとなり  
體の詩は人の性情より出づる詠歎の聲に  
人といへども **いかゞか** 折は觸れて歌ひ出  
**なみ** かりか彼國の誘は世にあら出でたるもの  
句を作る齡をふといへばはた此意とこそ  
抒情詩の行ばるる境畧何しかも斯くは  
ふよ近き世の文明の向ふところ古よかは

浪江抽斎  
その四十九  
森鷗外

100年

# 鷗外 遺産

直筆資料が伝える心の軌跡



2022年 10/22 [土] ~ 2023年 1/29 [日]

【会期中の休館日】10月25日【火】 / 11月22日【火】、12月27日【火】 / 2023年1月4日【水】(年末年始)、1月23日【月】、24日【火】  
【開館時間】10時~18時(最終入館は17時30分)

【観覧料】一般600円(20名以上の団体:480円)

【監修】須田喜代次(大妻女子大学名誉教授、森鷗外記念会副会長)  
株式会社春陽堂書店、公益財団法人日本近代文学館、島根県立石見美術館、東京大学総合図書館、森鷗外記念館(津和野)ほか

【会場】文京区立森鷗外記念館

鷗外生誕160年・没後100年・開館10周年

浪江抽斎  
その四十九  
森鷗外

森鷗外100年



2022年 開館10周年  
森鷗外記念館  
Mori Ōgai Memorial Museum

〒113-0022 東京都文京区千駄木1-23-4  
TEL 03-3824-5511

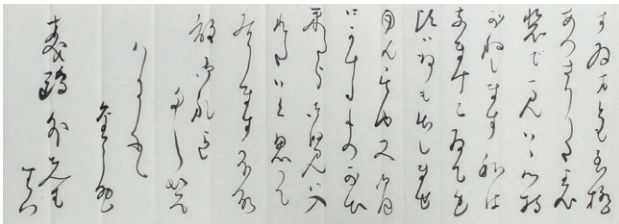


# 展覧会初出品資料の数々、近代文学至極の直筆資料が集結!

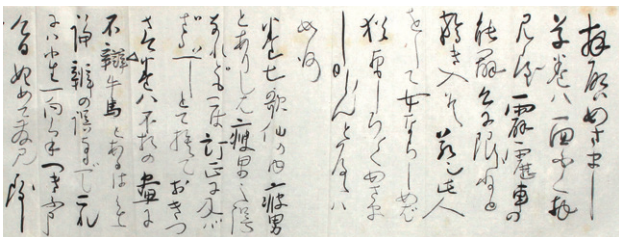


鷗外直筆原稿「澁江抽斎」

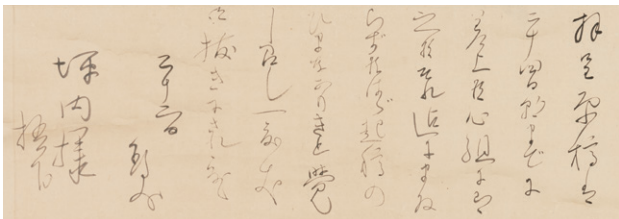
大正5年1～5月に「東京日日新聞」「大阪毎日新聞」で連載された「澁江抽斎」全119回のうち(その四十九)(その五十)の原稿。活字を組む過程で分割され朱書きで番号が付された。



夏目漱石筆鷗外宛書簡(部分) 大正2年8月5日 森鷗外記念館(津和野)寄託  
鷗外の小説集「意地」「走馬灯と分身」献呈に対する礼状。「定本 漱石全集」未収録。



正岡子規筆鷗外宛書簡(部分) 明治29年9月2日 森鷗外記念館(津和野)寄託  
鷗外主宰雑誌「めざまし草」の掲載内容に関する意見。「子規全集」未収録。



鷗外筆坪内逍遙宛書簡 年月不詳22日  
逍遙から依頼されたと思われる原稿執筆に対する返答。「鷗外全集」未収録。

文学、美術、演劇：森鷗外(1862～1922)は、陸軍軍医をつとめながら学芸においてジャンルを超えて活躍した知の巨人です。

文京区立森鷗外記念館(2012)では、前身の鷗外記念本郷図書館、本郷図書館鷗外記念室と受け継いできた原稿や書簡、愛用品、初版本など文学的にも歴史的にも貴重な「鷗外遺産」を保存・収集してきました。

開館10周年を迎えた本年、鷗外文学最高峰とも称される『澁江抽斎(その四十九、その五十)』の直筆原稿が「鷗外遺産」に加わりました。本展では、この『澁江抽斎』をはじめとする貴重な鷗外直筆原稿を紹介するとともに、近年発見され、森鷗外記念館(津和野)に寄託された鷗外宛書簡の一部を初公開いたします。

直筆原稿には推敲の跡も残り、出版された作品からは知り得ない創作過程を見ることができ、執筆時の鷗外を垣間見られるような感動につつまれます。鷗外宛書簡では、夏目漱石、正岡子規、与謝野晶子、黒田清輝、高村光太郎など文学や美術などの分野で活躍した著名人の書簡を紹介します。各人の筆跡や文面からは、その人となりや鷗外との関係性が読み取れ、思いがけず親近感が湧いてきます。

書き癖や文字の勢いなど手書きだからこそ視覚に訴える心情や、活字では見ることができない躍動——直筆資料が伝える心の軌跡をぜひご体感ください。

## ●展覧会関連イベント●

「森鷗外～ゆかりの地文学フォーラム」  
[基調講演] 須田喜代次氏(大妻女子大学名誉教授、森鷗外記念会副会長)  
[鼎談] 須田喜代次氏、今川英子氏(北九州市立文学館館長)、山崎一穎氏  
[日時] 11月26日(土) 14時～16時  
[会場] 文京シビックセンター26階スカイホール  
[定員] 90名(事前申込制)  
[料金] 無料(参加票が必要)  
[申込締切] 11月7日(月)必着

## ●展覧会関連講演会●

「澁江抽斎の魅力～直筆原稿と作品と」  
[講師] 山崎一穎氏(跡見学園女子大学名誉教授、森鷗外記念館(津和野)館長)  
[日時] 12月18日(日) 14時～15時30分  
[会場] 文京区立森鷗外記念館2階講座室  
[定員] 30名(事前申込制)  
[料金] 無料(参加票と本展観覧券(半券可)が必要)  
[申込締切] 11月25日(金)必着

## 申込方法

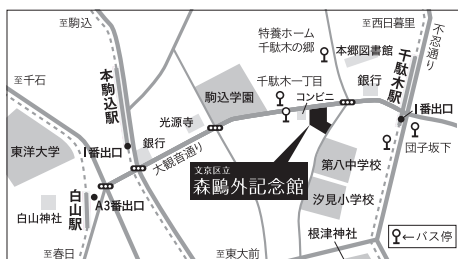
往復はがき・往信に「〇月〇日イベント」・氏名(ふりがな)・住所・電話番号(緊急連絡先)を、返信用には、住所・氏名を明記の

上、〒113-0022 東京都文京区千駄木1-23-4 文京区立森鷗外記念館「展示関連イベント」受付係までご応募ください。  
Eメール: 件名に「〇月〇日イベント」、本文に氏名(ふりがな)・電話番号(緊急連絡先)・Eメールを明記の上、bmk-event@moriogai-kinenkan.jpにご応募ください。

・申し込みは、1通につき1名様(お一人様1通まで)、応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。  
・ご不明な点等ございましたら、文京区立森鷗外記念館にお問い合わせください。

## ●展示解説●

当館2階講座室にて当館学芸員が展示解説を行います。  
[日時] 11月1日(火・開館記念日)、11月16日(水)、12月7日(水)、1月18日(水) いずれも14時～(30分程度)  
[定員] 先着15名  
申込不要、当日の展示観覧券が必要です。直接講座室へお越しください(開場13時45分)。  
※上記に加え、会期中スペシャルギャラリートークをYouTubeチャンネルにて配信予定。



○電車  
東京メトロ千代田線「千駄木」駅1番出口徒歩5分  
東京メトロ南北線「本駒込」駅1番出口徒歩10分  
都営三田線「白山」駅A3番出口徒歩15分  
JR線・京成線「日暮里」駅西口徒歩15分  
○バス  
都営バス草63番系統「千駄木一丁目」下車徒歩1分  
都営バス上58番系統「団子坂下」下車徒歩5分  
B-ぐる千駄木・駒込ルート「19特養ホーム千駄木の郷」下車徒歩5分  
※一般の駐車場がございませんので、公共交通機関をご利用ください。

## ●11月1日(火)は開館記念日●

開館10周年を記念して、当日は展覧会を観覧された方に、オリジナルポストカードをプレゼントします。

## ●2023年1月19日(木)は鷗外の誕生日●

鷗外161回目の誕生日を記念して、当日は無料で展覧会をご覧いただけます。

[次回展示] コレクション展「美奈和集(仮)」2023(令和5)年2月3日(金)～4月2日(日) 予定。出版から130年がたつ「美奈和集」の収録作品や改訂版などについて紹介します。

## ●展覧会連携●

・文京ふるさと歴史館特別展「小石川植物園異聞 白山御殿跡いま・むかし」の会期(10月29日～12月11日)中、「鷗外遺産」展の観覧券(半券可)ご提示で記念品をプレゼント(なくなり次第終了)。詳細は文京ふるさと歴史館へ(03-3818-7221)。  
・東京大学附属図書館特別展示「テエブス百門の断面図——歿後100年記念 森鷗外旧蔵書展」(会場:東京大学総合図書館 会期:10月13日～11月28日)。詳細は東京大学附属図書館ウェブサイトをご覧ください。

本展覧会の最新情報は記念館HP等でご確認ください。展覧会や関連事業について、都合により変更になることがあります。ご来館の際はマスクの着用、手指消毒にご協力ください。風邪症状や体温が37.5℃以上ある方の入館はご遠慮ください。

## 文京区立森鷗外記念館

〒113-0022 東京都文京区千駄木1-23-4 [電話]03-3824-5511 [URL]https://moriogai-kinenkan.jp  
●モリキネカフェ●10時30分～17時30分(ラストオーダー17時)